スーパーチャレンジ2002

世界チャンピオン フランスから勝利をおさめる

スーパーチャレンジ2002は、世界チャンピオンのフランス代表を迎えて7月3日(水)から9日(火)まで、熊本、神戸、岐阜、名古屋、川崎と転戦して行われた。

日本代表チームは、2000年にスタートしたアテネ強化プロジェクトの一貫として大会に望み、2001年第17回世界選手権で優勝した王者フランスを相手に一勝をもぎ取るなど着々とその成果を示した。

一方、2008年の北京オリンピックを視野に入れた若手代表チームPが、日本リーグ各チームと前座試合を行った。

◆ 第1戦（7月3日(水)）

ホンダ熊本（1勝） 26（12－8／14－14）22 日本代表P（1敗）

ホンダ熊本のスローオフ。試合開始からホンダ熊本が15番宮城のポストを起点とした攻撃で日本代表Pのディフェンスを揺さぶり、次々と得点していく。開始12分、8－3とホンダ熊本が5点リードした時点で、日本代表Pがタイムアウトをとる。タイムアウト後は、日本代表Pも攻撃のリズムをつかみ、15番高野の両足ジャンプシュート、9番東長濱のステップシュートで追撃。22分過ぎに8－9と1点差まで追い上げる。

しかし、地力に勝るホンダ熊本がリズムを取り戻し、日本代表Pを終盤引き離して、12－8とリードを4点として前半を終了する。後半は一進一退。日本代表Pはセンス光るプレーを時折見せるが、パスミスやシュートミスなどプレーに粗さも見られた。また、ディフェンス面でもマークのチェンジなど組織的な課題も多く見られた。結局、4点リードのまま、26－22でホンダ熊本が勝利した。

【ホンダ熊本】
上田6・松本5・宮城4・佐伯3・西村2・本多2・作田2・クジノフ2

【日本代表P】
東長濱5・地引4・高野4・嘉古田3・野嶋3・中山2・兼本1

日本代表（1勝） 23（11－7／12－9）16 フランス代表（1敗）

日本代表のスローオフで試合開始。一進一退の攻防で10分を過ぎて4－4の同点。先に主導権を握ったのは日本代表。GK1番坪根が要所要所のナイスセーブでゲームの流れを引き寄せる。20番田場や11番中川のステップシュート、21番下川のサイドシュートで得点を重ねていく。フランス代表は、シュートがなかなか決まらないためリズムに乗れず、反撃の糸口をつかめないまま前半を終える。11－7と日本代表が4点をリードして折り返し。

後半、フランス代表は、日本代表の攻撃の起点7番宮崎を密着マークしたり、オールコートマンツーマンディフェンスをしたりと、日本代表のリズムを崩そうとする。しかし、日本代表は粘り強い攻めでゲームの主導権を渡さない。終始、日本代表のペースで試合が進み、結局23－16で日本代表の勝利。20番田場は8得点をあげる大活躍だった。そして、GK1番坪根のファインセーブも光った試合だった。

【日　　本】
田場8・中川5・下川4・池辺3・内田1・宮崎1・永島1

【フランス】
ボスケ2・ケンプ2・ナルシス2・ブセリエ2・ジュラン2・プランタン2・フェルナンデ1・サヤド1・ギグー1・リシャール1

世界チャンピオン・フランスチーム

◆ 第2戦（7月4日(木)）

ホンダ（1勝） 32（17－12／15－7）19 日本代表P（2敗）

『パス回しの広さとディフェンスの高さでホンダが圧倒』

開始早々、ホンダ斎藤のイエローから日本P地引が7mTを決める。しかし、地力に勝るホンダは谷口のサイドシュートと速攻で、たちまち3点のリード。しかし、ホンダ茅場は7mTを2本阻止される。キーパー久保宮のキープ力が光る。その後、取ったり取られたりで推移。日本P高野の見事なステップでの切り込みも決まるが、ホンダは相手のミスを確実に点に結びつける。社会人チーム特有の荒いプレーもあったが、パスを大きく回してシュートにつなげ、5点差で前半を終了。後半もホンダは立て続けに3点取り、差は広がるばかり。しかし、日本Pも東長濱の股下シュート、中山のポストシュート、高野の高い打点のシュートと追いすがる。しかし、ホンダは一時、同時に3名の

退場を出しながらも逆に加点。日本Pも果敢に攻め、守るのだが、ボールが手につかず、ホンダの高さに阻止され、13点の大差をつけられて試合終了。日本Pの今後の精進に期待する。

【ホ　ン　ダ】
谷口11・広政7・鈴木4・鶴見3・斎藤3・茅場2・横地1・櫛田1

【日本代表P】
高野6・地引4・東長濱4・中山1・嘉古田1・野嶋1・松山1

フランス代表 （1勝1敗）	24	13－ 9 11－10	19	日　本　代　表 （1勝1敗）

『眼福・速さ・高さ・正確さに優るフランスの技』

サイドシュートを打つ下川選手

とにかくパス回しが速い。球を手にしたと思ったらもう手を離れている。フットワークもすばらしい。開始30秒、ボスケの打点の高いシュートで得点後、みるみるフランスは点差を広げる。どこからでもシュートが打て、日本のパスコースを鋭く読み、カットしては得点に結びつける。日本も、田場・中川・下川らの多彩なシュートで得点するが、なかなか相手の6mに入っていけない。四方の再三の好セーブは見事。顔面に一発喰らうも闘志で立ち上がる。4点差まで追い上げ、前半終了。

後半、日本は見違えるような動きの良さで連取。フランスのお株を奪うような宮崎のパワーシュートは見事。しかし、相手シュートをブロックして出された速攻の球が手につかなかったり、あるいはパッシブプレーのほとんどは日本側であったりと、課題は多い。残り7分で5点差はいかんともし難く、内田の7mT成功、佐々木の残り30秒での19点目で意地を見せるが、試合終了となった。

【フ　ラ　ン　ス】
ケンプ6・ボスケ4・ナルシス4・プランタン3・サヤド2・ジュラン2・ジュニヨン2・フェルナンデ1

【日　　　本】
佐々木4・下川4・内田3・宮崎3・中川3・田場2

◆ 第3戦（7月6日㈯）

ト ヨ タ 車 体 （1勝）	26	12－ 9 14－11	20	日 本 代 表 P （3敗）

日本代表Pセンター岩永のミドルシュートで幸先よくスタート。一方、トヨタ車体も近藤のロングシュートで反撃。日本代表P・GK志水、トヨタ車体GK林田、両チームGKの好セーブが続く。手堅いディフェンスで固めたトヨタ車体は、10分過ぎより、近藤、加藤、角谷らの速攻で日本代表Pを引き離し、前半は12－9でトヨタ車体がリードして折り返す。

後半、日本代表Pは岩永、地引、小野らのコンビネーションで得点を狙うものの、トヨタ車体が要所を抑えて突き放す。残り10分、トヨタ車体が退場者を2人続ける間に、日本代表Pは嘉古田、草原、岩永らの速攻で5点連取し追い上げたものの、26－20でトヨタ車体が完勝した。

【トヨタ車体】
角谷7・近藤6・加藤6・宮地3・新美2・北出2

【日本代表P】
岩永5・小野3・嘉古田3・地引3・草原2・富田2・松山2

フランス代表 （2勝1敗）	22	13－ 9 9 － 7	16	日　本　代　表 （1勝2敗）

フランス代表は、流れのあるポジションチェンジ攻撃から、右サイド・ジュラン、左サイド・ブセリエの巧みなシュートで得点。日本代表もフランスの5－1ディフェンスを田場の中央へのカットインで揺さぶり、宮崎－田場のゴールで、両者とも一進一退の展開となる。前半25分を過ぎて、日本代表の得点がペースダウンした間に、フランスはジュラン、ナルシスらの連続得点で13－9で折り返す。

後半、日本代表はGK坪根の好セーブとディフェンスの激しいマークで対抗するが、フランスは要所要所で確実にサイドシュート、ポストシュートで得点。

日本代表は終始健闘したが、後半20分過ぎからフランスGKルモンヌにゴールを阻止され、これが結果的に響いたゲームであった。

【フ　ラ　ン　ス】
ケンプ5・ボスケ5・ジュラン4・サヤド2・ナルシス2・リシャール2・プランタン2

【日　　　本】
田場6・池辺3・宮崎3・下川2・内田1・佐々木1

◆ 第4戦（7月7日㈰）

大 同 特 殊 鋼 （1勝）	25	12－ 7 13－ 9	16	日 本 代 表 P （4敗）

日本代表Pのスローオフより、ゲームが開始される。ともに高い3－2－1ディフェンスを敷くものの、大同18番朴の先制打をきっかけに、攻守にわたり大同が一方的にゲームを支配する。日本代表Pもセンター10番岩永を中心に、ゲームを組み立てるが、大同の激しいプレスの前に攻め手を欠き、自ら大同の逆速攻をまねく結果となった。

前半19分過ぎより日本代表Pの5番嘉古田、6番野嶋の3連取ですがるも、前半を12－7の大同リードで終える。後半もペースは変わらず、積極的なディフェンスを展開する大同に対して、攻めあぐむ日本代表Pであったが、その中で5番嘉古田が1人6得点と気を吐く。攻守にわたり一方的にゲームを支配し、25－16で大同が勝利を収めた。

【大同特殊鋼】
畠中４・冨本３・大田３・朴３・峯村２・中谷２・市原２・山本２・趙２・南川１・渡邊１
【日本代表Ｐ】
嘉古田６・岩永４・野嶋３・地引２・小野１

フランス代表 （３勝１敗）	18	10－６ ８－10	16	日　本　代　表 （１勝３敗）

　王者フランスに対してこれまで１勝２敗で迎えた第４戦。日本は11番中川のステップシュートで先制。その後も11番中川、20番田場を中心として、攻撃を組み立て、２番松林、20番田場で得点を重ねる。対するフランスも、11番ギグーのサイド、２番フェルナンデのポストシュートで応戦する。日本は、11分20番田場が退場するも１番坪根を中心に守りきった。一進一退の攻防が続くも、前半23分過ぎよりフランスの３連取により、日本は前半を６－10の４点ビハインドで折り返した。
　後半に入り、５番野村、21番下川、４番佐々木の３連取で波に乗り、後半６分45秒には11－11の同点に追いつく。その後、フランスはロングシュートを中心に、日本はサイド、ポストで応戦し、一進一退の攻防を見せるも、フランス16番オメイエのファインセーブの前に逆転することができず、結果日本は16－18で惜敗した。日本は何度もあった速攻のチャンスを活かすことができなかった。
【フ　ラ　ン　ス】
フェルナンデ５・ギグー３・ボスケ２・ケンプ２・ブセリエ２・プランタン２・ナルシス１・ジュニヨン１
【日　　　本】
松林３・田場３・下川３・野村２・中川２・内田１・佐々木１・羽賀１

◆ 第５戦（７月９日(火)）

大　崎　電　気 （１勝）	30	17－11 13－13	24	日本代表Ｐ （５敗）

【大崎電気】
東９・辻７・岩本４・豊田２・加藤２・森本２・秋山２・佐藤１・小林１
【日本代表Ｐ】
岩永９・地引８・高野５・中山１・野嶋１

フランス代表 （４勝１敗）	25	13－８ 12－10	18	日　本　代　表 （１勝４敗）

ロングシュートを打つ佐々木選手

　日本、11番中川のミドルシュートでゲームがスタート。対するフランスはポストプレーで同点。フランスは１－５ディフェンス、日本は両サイドの確実なシュートでリード。しかし、地力に優るフランスは、19番リシャールからの攻撃でミドルを中心に逆転。日本はイエローカード３枚となり苦しいディフェンスが続く。20分、田場のシュートで追い上げるが、13－８と５点差で前半を終了。
　後半、日本の連続ゴールで、13－10とし、ディフェンスも頑張るが、フランスのエース、15番ジュンヨンを止めることができない。残り15分、フランスの１－５ディフェンスをなかなか攻めることができない日本は、３番内田をフローターとして攻撃するが、フランスの攻撃力が勝り、残り10分、24－14と10点差。日本も佐々木を中心に、ディフェンスをマンツーマン、１－５ディフェンスと変えて戦うが、25－18で地力に優るフランスが勝利した。フランスのすばらしいディフェンスが目立った。
【フ　ラ　ン　ス】
ケンプ５・ジュニヨン５・ギグー４・フェルナンデ３・ボスケ２・ナルシス２・サヤド１・ブセリエ１・ジュラン１・カルブリ１
【日　　　本】
内田４・中川４・田場３・佐々木２・池辺２・下川２・羽賀１

第５回女子世界学生ハンドボール選手権大会
ルーマニアが優勝、日本は第４位に

第５回女子世界学生ハンドボール選手権大会は、６月25日(火)から７月２日(火)までの８日間、スペインのバレンシアで開催された。

今回の参加国は、メキシコ、スペイン、モルドバ、ルーマニア、チェコ、中国、日本の７カ国で、１回総当たりのリーグ戦で行われた。

日本は第１戦、第２戦と順調に勝利を収めたが、やはりスペイン、ルーマニア、チェコといったヨーロッパの強豪チームには少し力及ばず第４位に終わった。圧倒的な強さを見せたルーマニアが６戦全勝で優勝を飾った。

【日本戦の戦評】

■６月27日(木)

日　　本　24（11－７／13－11）18　中　　国

前半立ち上がり橋本のサイドからの連続得点で攻撃のリズムをつくり、試合の流れをつかんだ。

防御は前後半を通して、積極的な守備を展開し、相手の攻撃を切ることができた。

後半森本のミドルシュートで攻撃のリズムをつかみ、流れを切られることはなかった。

■６月28日(金)

日　　本　53（28－８／25－５）13　モルドバ

立ち上がり、４：２ディフェンスを採用し、前２名が相手ボールに絡みパスカット狙いが成功して、相手の攻撃ペースを狂わせた。

前半15分で15－３という展開になり楽に勝負を決めた。後半もコンスタントに得点を重ねて、53対13と大勝した。

■６月29日(土)

日　　本　20（10－15／10－９）24　スペイン

前半立ち上がり、早船、橋本の得点と、試合をリードする原田の大きい動きの展開から攻撃のリズムをつかむ。防御は６：０防御で入るが、スペインの展開によるパスの早さやフェイントの多彩さに前につめる防御が遅れ、シューターをマークする有利さが作れない。前半21分まで８－10でスペインがリードするが、試合の流れは両チームが持ち、ミスをしたチームが流れを相手に渡している状況であった。前半の終盤に攻撃に疲れが出て９－14と得点にリードを許す。また防御でも積極的な動きが見えず連続失点を生む。

後半開始から防御はよく守り、有利な状況を作らせない頑張りが見えた。しかし攻撃の動きが単調になりミスが続く。単調な攻撃のミスは失点に結び付き展開を苦しくした。中盤14－21と得点が開き、攻撃はサイド攻撃を切られ、ポストシュートを押さえられて攻撃展開を狭く絞られ、攻め切れない時間帯で試合が流れる。20分過ぎ、防御から速攻につなぐことができて試合が生き返り、開いた点差を詰めることができたが、前半終盤の失点、後半中盤の失点を埋めることができず試合を落とす。

■６月30日(日)

日　　本　18（６－12／12－11）23　ルーマニア

ルーマニアの高いディフェンスにどう対応するかがポイントであったが、高い壁を破れず、立ち上がりから苦戦を強いられた。

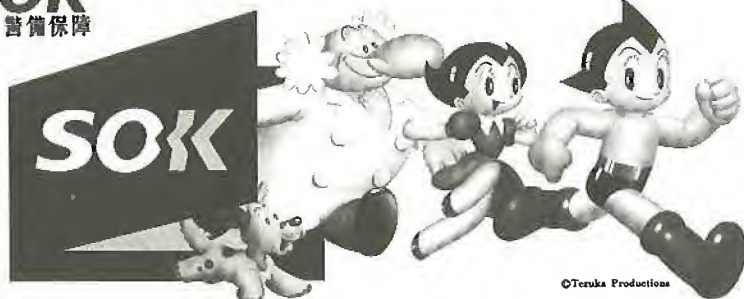
15分過ぎからクイックやステップシュートを多用し加点、その後は日本のペースとなったものの、立ち上がりの失点が重く、前半を６点のビハインドで折り返した。

後半に入り、ディフェンス陣の頑張りもあり、何とか失点を最小限に抑えながら、15分過ぎから速攻展開となり、ゲームの流れを引き寄せ追い上げたが、前半の失点が大きく敗れた。

橋本＝４、高橋＝４，谷口＝３、原田＝２、千葉＝２、他

■７月１日(月)

日　　本　36（18－10／18－７）17　メキシコ

立ち上がり、早いパスワーク、速攻などスピーディな展

開を仕掛け、主導権を握って、橋本（シャトレーゼ）の連続速攻、早船（同）、森本（筑波大）、上町（国士舘）のミドルなどでコンスタントに加点。メキシコもスピーディな動きで対抗してきたが、個人技に勝る日本が18−10で折り返した。後半にはいって、ディフェンス陣の冨田（オムロン）、武井（国士舘）など攻守にわたる活躍や速攻などで順調に加点し、メキシコを７点に抑えてトータル36−17で大勝した。

橋本＝９、早船＝４、上町＝４、森本＝４、原田＝３、高橋＝３、谷口＝３、冨田＝２、千葉＝２、武井＝１、太田＝１

■７月２日(火)

日　　本　26 (11−16 / 15−13) 29　チ　ェ　コ

開始早々橋本（シャトレーゼ）のサイドシュートで出足良くスタート。森本（筑波大）、早船（シャトレーゼ）などで得点し日本ペースで展開されたが、15分過ぎにセット攻撃でパスミスを連発、そこをチェコに衝かれて逆速攻を受け連続失点、その後、立て直して21分には10−12まで追い上げた。しかし、25分過ぎに再度ミスが出て５点差をつけられ前半終了。

後半、５点差を追ってのスタートはイーブンであったが、15分過ぎてからチェコの積極的なディフェンスにセットでのパスのリズムを乱され連続失点。その後、22分過ぎから、森本、早船のミドル、橋本の速攻、再度シュートなどで追い上げ、26分には25−26の１点差まで追い上げたものの、その後またセット攻撃のリズムを崩し、そこを衝かれて３連続得点されて逃げ切られた。

森本＝11、橋本＝６、早船＝３、高橋＝３、原田＝１、千葉＝１、谷口＝１

【大会結果】

Classification		ROM	ESP	CZE	JPN	CHN	MEX	MDA	数	勝分敗	得点	失点	差	点
1位	ルーマニア Roumania (ROM)		25○22	29○21	23○18	35○13	43○13	43○6	6	6 0 0	198	93	105	12
2位	スペイン Spain (ESP)	22●25		21○18	24○20	29△29	41○7	47○9	6	4 1 1	184	108	76	9
3位	チェコ Czech (CZE)	21●29	18●21		29○26	28△28	48○8	51○10	6	3 1 2	195	122	73	7
4位	日本 Japan (JPN)	18●23	20●24	26●29		24○18	36○17	53○13	6	3 0 3	177	124	53	6
5位	中国 China (CHN)	13●35	29△29	28△28	18●24		46○19	40○15	6	2 2 2	174	150	24	6
6位	メキシコ Mexico (MEX)	13●43	7●41	8●48	17●36	19●46		35○27	6	1 0 5	99	241	-142	2
7位	モルドバ Moldova (MDA)	6●43	9●47	10●51	13●53	15●40	27●35		6	0 0 6	80	269	-189	0

【日本選手団】

役職	氏名	備考
チームリーダー	樫塚正一	日本協会強化委員会委員・全日本学生連盟理事
リーダーＡＳ	久保義雄	全日本学生連盟副会長
リーダーＡＳ	松原光三	日本協会常務理事・全日本学生連盟監事
ヘッドコーチ	水上一	日本協会女子強化委員会委員長・筑波大学女子監督
コーチ	平岡秀雄	東海大学女子監督
	栗山雅倫	日本協会
	池田修	福岡教育大学監督
トレーナー	田村耕一郎	筑波大学トレーナー
総務兼通訳	田中茂	日本協会アテネ特別委員会

プレーヤー	氏名	所属	学年	出身校	身長(cm)
ＧＫ	稲福亜津沙	福岡教育大学	４年	那覇西高校	169
	木澤尚子	日本体育大学	２年	初芝橋本高校	168
ＣＰ	高橋敦子	筑波大学	４年	四天王寺高校	163
	森本美奈子	筑波大学	４年	宣真高校	170
	上町史織	国士館大学	４年	盛岡第二高校	166
	鈴木亜矢	日本女子体育大学	２年	小松市立高校	168
	原田恵	シャトレーゼ		筑波大学	168
	橋本寛子	シャトレーゼ		東京女子体育大学	163
	早船愛子	シャトレーゼ		筑波大学	165
	冨田有美	オムロン		武庫川女子大学	170
	太田智子	筑波大学	３年	福井商業高校	172
	長田由佳	日本女子体育大学	３年	山梨高校	163
	秋山美寿々	東海大学	３年	川崎北高校	170
	武井夏紀	国士館大学	３年	水海道第二高校	170
	谷口尚代	筑波大学	２年	福井商業高校	184
	千葉歩	筑波大学	２年	浦和実業高校	166

フランス遠征を終えて

全日本男子ハンドボールチーム監督　田口　隆

遠征期間：2002年6月4日～17日

遠 征 先：フランス（パリ・シャンベリー）

対戦相手：ベルシー国際トーナメント
（フランス・デンマーク・チュニジア）
：親善試合（ACBB・P.S.G・シャンベリー・イブリー・PONTAULT COMBAULT）

6月6日(木)

国際親善試合

日本　23 {14-13 / 9-11} 24　ACBB

得点者：中川7点・内田4点・下川3点・松林2点・佐々木2点・宮崎2点・加藤1点・池辺1点・田場1点

6月7日(金)

パリ・ベルシー国際大会

デンマーク　27-18　チュニジア

日本　21 {9-14 / 12-15} 29　フランス

【試合経過】

観客12,000人の中、フランスの応援一色という中で試合がスタートした。先制点は、中川のフェイントから左サイド下川のシュートで良い感じでスタートを切った。その後、フランスのサイド・ロングと高さと幅のあるオフェンスで1－4とリードを許すものの、宮崎・中川のミドルシュートと田場の7ｍＴでフランスを追撃する。前半22分、田場の7ｍＴで9－10とほぼ互角の展開であった。しかし残り時間5分からオフェンス・ディフェンスで足が止まり、オフェンスでは中川の2得点のみで、その間にフランスに速攻などで、5点を奪われ、11-15で前半を折り返す。

後半立ち上がり、取ったら取り返す互角の展開であったが、10分過ぎから、徐々にスピードが落ち、フランスが次々にコートに送り出す大型の選手に差を広げられ、21-29で初戦を落とす。しかし、前日課題を残した、ディフェンスとの間合い・ディフェンスのコンビネーションは改善されているケースが多くあったことは収穫であった。

得点者：中川8点・宮崎4点・内田2点・池辺2点・田場2点・下川2点・松林1点

6月8日(土)

パリ・ベルシー国際大会

フランス　29-21　チュニジア

日本　21 {11-15 / 10-14} 29　デンマーク

【試合経過】

この日も、観客10,000人という中で試合がスタートした。

先制点は、中川のミドルシュートが決まった。前日と同様に7－8とＧＫ坪根のファインプレーとディフェンスでの踏ん張りもあり、前半20分過ぎまで互角の展開であった。その後、中川にマークを付けられる変則的な5－1ＤＦに対し、パスのリズムを失い、スピードプレーを発揮できず、逆に速攻などでデンマークに得点を許し、9－14で前半を折り返す。

後半立ち上がり、デンマークに3連続得点を与え9－17と大きくリードを許したが、12分までに永島の速攻・松林のポストプレーなど5連続得点で3点差までに詰め寄ったところで、デンマークがタイムアウトを要求した。

その後、体力面での消耗が出始めたところで、ポストなどで7ｍＴを取られ、残り4分で20-25と5点差がついた。

最後は、松林のフェイントプレーからのサイドシュートが決まったものの21-29で敗れた。相手の大きな6－0ＤＦに対してはオフェンスを組み立てられたが、変則的なＤＦに対応するのに時間がかかり過ぎた。

得点者：宮崎9点・中川4点・田場4点・松林2点・池辺1点・永島1点

6月9日(日)

パリ・ベルシー国際大会

フランス　27-24　デンマーク

日本　19 {9-8 / 10-12} 20　チュニジア

【試合経過】

先制点はチュニジアに許したものの、直ぐに内田のサイドシュート・中川のミドルシュートで逆転し、下川の速攻などで前半終了まで常にリードをし、9－8と1点差で折り返す。前2試合は前半残り10分をきったところから崩れたが、この日はＧＫ坪根の再三にわたるファインプレーもあり、集中することができ、乗り越えることができた。

後半のスタートで得点を得るチャンスを2度にわたり逃

したが、集中力を保ち、田場のミドル、羽賀の速攻で11－8とリードを広げる。その後退場者を出し、相手に得点を許し12-12の同点に追いつかれる。その後、一進一退で終盤まで試合が進み、残り１分30秒でチュニジアにシュートを決められ、激しく攻撃を展開したものの逃げ切られて惜しい試合を落とした。

ＧＫ坪根が阻止率51％という活躍で、相手の得点を阻んだものの相手選手が退場している場面で得点を挙げることができなかったことが大きく響いた。

得点者：宮崎5点・田場4点・下川4点・中川2点・松林2点・内田1点・羽賀1点

■ 大会結果

優勝　フランス　3勝0敗
2位　デンマーク　2勝1敗
3位　チュニジア　1勝2敗
4位　日本　0勝3敗
最優秀選手　NARCISSE DANIEL（フランス）
最優秀ＧＫ　HVIDT KASPER（デンマーク）
得点王　宮崎大輔
CHRISTIANSEN LARS（デンマーク）
フェアプレー賞　日本

6月11日(火)

国際親善試合

日本　18 {12-14 / 6-12} 26　PSG

得点者：宮崎7点・下川4点・佐々木3点・田中2点・田場1点・池辺1点

6月12日(水)

国際親善試合

日本　21 {11- 9 / 10-10} 19　CHAMBERY

得点者：宮崎6点・佐々木6点・田場4点・池辺3点・田中1点・中川1点

6月14日(金)

国際親善試合

日本　23 {12-10 / 11-15} 25　IVRY

得点者：宮崎11点・下川5点・太田4点・田中1点・永島1点・加藤1点

6月15日(土)

国際親善試合

日本　28 {14-18 / 14-20} 38　PONTAULT COMBAULT

得点者：宮崎9点・太田4点・松林4点・下川3点・田中2点・加藤2点・池辺2点・田場1点・佐々木1点

■ 遠征試合の成果について

ディフェンスにおいては、池辺・羽賀に加え、大型の相手フローターを阻止するために起用した永島がフィジカル面での強さを発揮し、存在感を示した。

速攻においては、トレーニングの成果からサイドでの一次速攻での得点をあげることができた。特に下川の飛び出しが良く得点に結びつけることができた。

オフェンスにおいては中川・宮崎が持ち味を充分に発揮し、得点に絡むケースを多く作った。中川については変則的に相手マークが厚くなるケースを生み出した。宮崎については、チームに合流してから時間を追うごとに噛み合い、活躍した。

相手ＤＦが６－０ないしノーマルな高さでの３－２－１ＤＦに対しては、チーム戦術が浸透され、パニックになることなく全員の理解のもとスムーズな展開が図れた。

また、ヨーロッパで多く用いられている５－１ＤＦに対しても、打開策を見出すことができた。

今回選出した選手はそれぞれ持ち味を出したものの、試合の中ではチーム構成上、難しい場面も多々あった。

1．池辺への負担が多く、60分間常にベストのプレーをすることが困難であった。オフェエンス面では松林を起用し、成功を収める場面があったもののディフェンス面を考えると、松林・宮崎・中川・田場との組み合わせになったケースには相手のパワープレーを止めることができず、失点を許すケースが多かった。よって、ポストプレーヤーとして山口の復帰が早急に望まれる。オフェンスからディフェンスでの交代を２名で行うことができる。（時には３名も可能である）
2．フローターが全て右利きの選手のため、コンビプレーに制限ができ、試合の立ち上がりは機能しても途中から相手チームが対応してきたときに右からの仕掛けができず、相手に読まれやすい状況となり、苦しんだ。よって、茅場の早期復帰が望まれる。

強いチームと対戦することによって、敗れはしたものの多くの課題を意識できた遠征であった。

平成14年度JOCコーチ会議

特別ゲスト 長嶋茂雄氏が市原常務理事と対談

協力：JOC、写真提供：アフロスポーツ

平成14年度の（財）日本オリンピック委員会（ＪＯＣ）のコーチ会議が６月21日㈮より２日間、国立スポーツ科学センター（JISS）において開催され、約280名のナショナルコーチが参加した。

会議では市原常務理事がJOC・アテネ対策特別委員会委員長として第28回オリンピックアテネ大会対策についてプレゼンテーションを行った。また、巨人軍の終身名誉監督である長嶋茂雄氏がゲストに招かれ、市原常務理事との対談形式による講演を行った。

講演後の記者会見では「長嶋氏のノウハウを日本代表チームに注いでもらい、特にチームゲーム再興の起爆剤になってほしい」と松永怜一JOC選手強化本部長が述べられ、長嶋氏も微力ながら協力していきたいと語った。

日中ハンドボール交流とアジアの正常化ミーティング

１、日時　2002年３月29日㈮ PM18：00～20：00
　　　　　30日㈯ AM８：30～10：30

２、場所　中国深川市　MISSON HILLS HOTEL

３、出席者

[中国側]国東体育総局小球運動管理中心
　主　　任　胡　建　国
　一部主任　王　立　佛（ハンドボール協会専務理事）
　通　　訳　王　涛

[日本側]日本ハンドボール協会
　副会長　　山下　泉（ＡＨＦマーケティング委員）
　常務理事　市原則之（国際担当代行）

４、内容

①４月神戸市外アジアナショナルサーキット2002の件
　中国男子Ｎチーム派遣を願い、確約を得る。

②７月広島国際の件
　中国女子Ｎチーム派遣の要請に対し、中国Ｎチームは８月にヨーロッパ遠征の計画があった。したがって再検討を依頼し、万一派遣できない場合は、これに代わるチームの派遣を得ることを確約。

③日中韓交流の件
ⅰ　韓国協会が正常な状態になるまで、日中で始める。
ⅱ　先ず女子より始め（日本はリーグチーム）、成功を得た後男子に拡大。
ⅲ　日中各２チームによるホームアンドアウェイ方式。
ⅳ　時期：３月日本（日本リーグプレイオフ）、４月中国。
ⅴ　賞金大会、スポンサーによる冠大会、テレビ放映の検討。
ⅵ　レフェリーの帯同。

④日中韓台４協会専務理事連絡会（４月27日神戸市）
　韓国が不参加なら中止。

５、ＡＨＦ正常化の連携
①東アジアの加盟国を増す努力を日中韓で
　（韓国内が早く正常になることを願いながら、先ず日中で）
②ＡＨＦ会長、専務理事並びに事務局を東アジアに
　（中国の影響力を得て、2008年北京オリンピックまでに）
③ＡＨＦ第一副会長の渡邊氏に、ＩＦ・ＡＨＦに対する強いリーダーシップを願う
④当会議は今後定期的に継続させる。

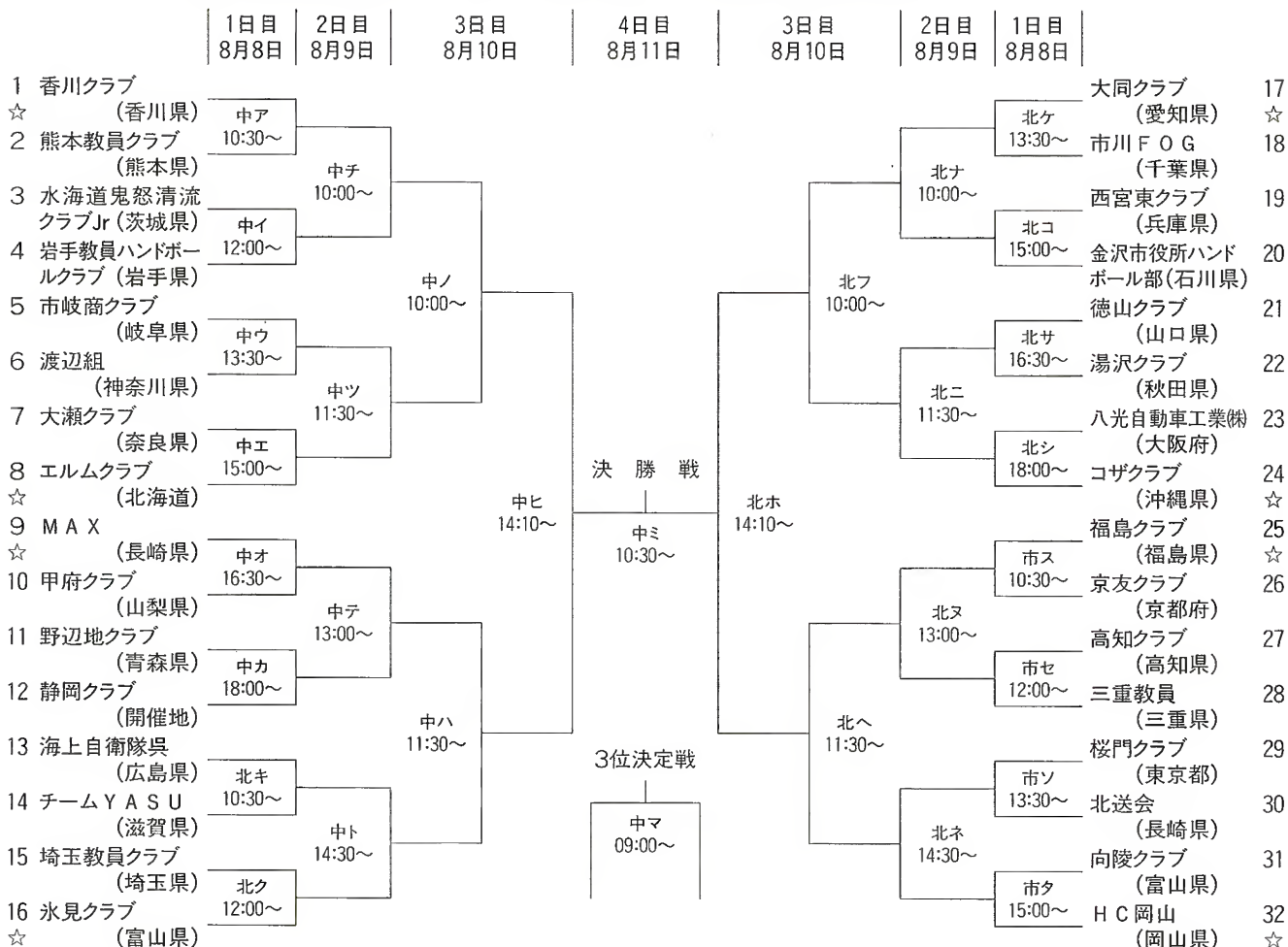
６、２月イラン開催の男子世界戦アジア予選の件（中国側）
①中国チーム不参加の理由
ⅰ　参加の意味がなくレフェリーも出さなかった。
ⅱ　何時も西アジアの命令で動きたくないので抵抗を示した。
ⅲ　韓国の状態に憂慮。
ⅳ　ゲーム内容を日本から提供されたビデオで確認する。

第7回ジャパンオープンハンドボールトーナメント

第58回国民体育大会リハーサル大会

【男　子】

☆：シード

会　　場　中：静岡市中央体育館　北：静岡市北部体育館　市：静岡市立高校体育館

【女　子】

☆：シード

会　　場　総：静岡市総合運動場体育館　二：静岡市立第二中学校体育館

1日目 8月8日	2日目 8月9日	3日目 8月10日	2日目 8月9日	1日目 8月8日

1 かながわガビアーノ ☆ (神奈川県)
2 宮崎クラブ (宮崎県)
3 京都教員チーム (京都府)
4 愛知WINS (愛知県)
5 S.H.F.シズオカ (開催地)
6 豊平クラブ (北海道)
7 大農OG (秋田県)
8 御座候 ☆ (大阪府)

総① 12:00～（1 vs 2）
総② 13:30～（3 vs 4）
総③ 15:00～（5 vs 6）
総④ 16:30～（7 vs 8）
総⑨ 10:00～
総⑩ 11:30～
総⑪ 14:10～

決勝戦
総⑯ 10:30～

3位決定戦
総⑮ 09:00～

二⑭ 14:10～
二⑫ 10:00～
二⑬ 11:30～
二⑤ 12:00～（9 vs 10）
二⑥ 13:30～（11 vs 12）
二⑦ 15:00～（13 vs 14）
二⑧ 16:30～（15 vs 16）

H C岡山 (岡山県) 9 ☆
オレンジクラブ (栃木県) 10
MIE. violet' IRIS (三重県) 11
氷見クラブ (富山県) 12
H C東京VENUS (東京都) 13
白梅三英美会 (岩手県) 14
熊本クラブ (熊本県) 15
香川銀行T.H. (香川県) 16 ☆

平成14年度全国高等学校総合体育大会

高松宮賜杯　第53回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

男子組み合わせ

平成14年度全国高等学校総合体育大会

高松宮賜杯　第53回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

女子組み合わせ

平成14年度B級コーチ養成講習会専門科目集合講習会

於：愛知県名古屋市ブラザー工業体育館、Bスクウェアー研修室、ブラザー工業研修所

（財）日本ハンドボール協会指導委員会委員長　**笹倉清則**

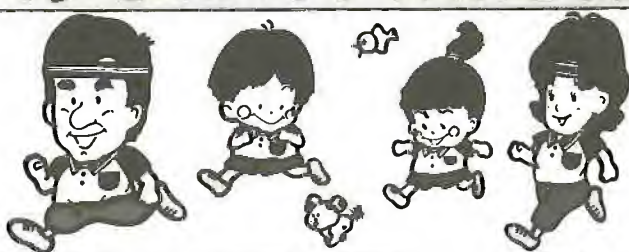
6月20日（木）〜23日（日）までの4日間、日本のトップコーチが一堂に会し、表記講習会が実施された。メイン講師としては、デンマークからアラン・ルンド氏が招かれた。氏の母国デンマークは世界トップクラスの選手育成システムを有し、氏自身も前CCM委員、ＩＨＦ本部委員の要職にある。また、氏の通訳を栗山、藤本の両氏が担当した。

本講習会は、NTSとの関連を考慮しながら、ＩＨＦやデンマークの本質的な指導に対する考え方を吸収しつつ、日本の選手育成、コーチ養成のシステムを変革していくこと（大西専務理事）をねらいとした。また、コーチとしての参加者が、選手育成、ハンドボール競技・技術に対する共通理解を持てるようにすること（笹倉指導委員長）をねらいとして実施された。

内容としては、一日およそ10時間に及ぶ、講義、討論、実技指導などが盛り込まれ、さらに参加者による指導実践が行われた。この指導実践は、参加コーチが数グループに分かれ、対象実技補助者に対し、戦術指導を行い相互に評価しあうというユニークなものであった。

参加したメンバーは、全日本男子ナショナルチームの監督田口氏、（財）日本ハンドボール協会強化部長の松井氏、ＮＴＳ担当の東根氏をはじめ、実業団、大学の監督・コーチなど多士済々であった。

講習概要は次ページの通りである。

受講者名	所属
杉森　弘幸	岐阜大学
田村　修治	東海大学
小山　　浩	筑波大学付属中学・高校
村松　　誠	駒沢大学
斉藤慎太郎	日本体育大学
角谷喜代重	北陸電力（株）
田口　　隆	本田技研工業株式会社
玉村　健次	湧永製薬（株）広島事業所
堀田　敬章	北國銀行
栗山　雅倫	（財）日本ハンドボール協会
藤本　　元	（株）シャトレーゼ
松井　幸嗣	日本体育大学
東江　正作	浦添市民体育館
東根　明人	順天堂大学
三輪　一義	琉球大学
佐藤壮一郎	大同工業大学
田中　俊行	（株）ブラザー工業
佐藤　　靖	秋田大学

熱心な受講風景

デモンストレーターの大同工大選手に
記念品を渡すルンド氏

メイン講師　アラン・ルンド氏

■アラン・ルンド氏担当

1　General Theory and Methodology of Training in HandBall
2　Trend of HB in the Recent Years
3　Team Management and the role of Coach
4　Japan as ASIAN CHAMP dream or a Realistic Vision
5　How to Understand HB -Focus on the Phases of the Game-
　① Changing to ofence :Interception and break out
　② Moving up to the court (including passing the ball)
　③ Arrival into shooting zone
　④ Team offense against organized defense
　　(incluing shooting)
　⑤ Rreturn pahse : defense starts
　⑥ Organized defense
6　実技講習：個人戦術、グループ戦術、チーム戦術
※実技補助：大同工業大学男子部員、ブラザー工業女子部員

■大阪教育大学　土井氏担当

1　局面について
2　我々はどのような方法で指導するか
3　中学校高校の現状

■福岡大学　田中氏担当

1　体力評価、トレーニング

■指導委員長　笹倉氏担当

1　ゲーム分析とその活用：参加コーチによる討議1
2　ハンドボール用語の共通理解：参加コーチによる討議2

大西専務理事

笹倉指導委員長

連載 26

指導者は自由に参加し勉強しよう！

NTS2002ブロックトレーニングのスケジュールについて

(財)日本ハンドボール協会
NTS運営委員会　委員長　蒲　生　晴　明

NTSは、別添のとおり全国9ブロックでブロックトレーニングが開催されます。ブロック毎にスケジュールは異なりますが、統一した指導を実施いたします。今回は、

**『目指せファンタジスタ！』
ゲームを見据えたGood Habit（良い習慣）を獲得しよう**

ゲーム局面で、パスなのか、ドリブルなのか、フェイントなのか、シュートなのか、等「プレーヤー自身が気が付くこと」＝「判断できる能力：個人戦術」を習慣化していくことが大切です。今回は、このような内容を中心にして、実施してまいります。

NTSは、日本を代表する競技者を「いち早く発掘」「良い環境で育成」「そして世界で勝負」という段階を各種競技毎に実践していくためのシステムであります。ブロックトレーニングでは、各都道府県から推薦された選手とその指導者が対象者となっておりますが、同時に、指導者を育成強化していくことと、システムを実行することによっての普及活動としております。従って、**ブロックトレーニングには、推薦された選手と所属の指導者のみだけでなく、指導者が自由に参加できるシステムでもあります。指導者の方には、トレーニングに参加していただき、新しいコーチングの方法などを実際に見ていただいて、毎日のトレーニングに役立ていただきたいと考えております。**ブロックトレーニングに出向いていただいて、自身の指導に対しての考え方をともに勉強していただければ幸いです。

6月のワールドカップサッカーでも新聞紙上には、若年層の育成が「キーポイント」と記載されております。従来の日本の競技スポーツの考え方であった、「育ってきた良い選手を選抜し強化する」だけでは、世界で勝てなくなってきました。世界の強豪国は、競技団体が主体的に、ジュニア層から発育発達の段階に応じた指導方法を確立して、その時期に適した育成環境を保有しております。そして、育成していく中で優秀な人材を色々な目で見て、優秀な選手がいたならば、次の段階へのステップアップ環境を整えていくのです。そう言った意味で、**推薦された選手だけのトレーニングだけではなく、日本ハンドボール界全体で育成方法を意思統一して、推薦されなかった選手にも、そのチャンスを与えていくためのシステムであることを強調させていただきます。**

いずれにしましても、日本のハンドボール界が「ひとつの方向性」をもって強化指導を実施していくことが重要であります。ハンドボールに携わる皆さんと共に、将来の日本ハンドボール界を世界で活躍できるように育てて行きたいと考えます。ご理解・ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

以上

2002ブロックトレーニング開催予定

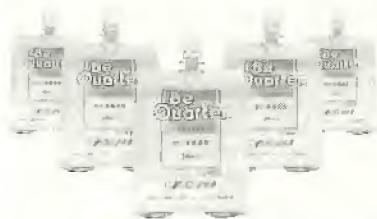
	開催日時	開催場所	住所
北海道	9/7・8	函館大学	函館市高丘町51－1
東北	9/14・15	花巻市体育館	岩手県花巻市花園町50
関東	8/28・29	草加市スポーツ健康都市記念体育	草加市瀬崎町1398
東海	8/24・25	大同特殊鋼	名古屋市南区大同町2－30
		ブラザー工業	名古屋市瑞穂区苗代長15－1
北信越	9/28・29	富山県総合体育センター	富山市秋ヶ島183
近畿	8/31・9/1	和歌山県立橋本体育館	橋本市北馬場455
中国	8/6・20・27	湧永製薬	広島県高田郡甲田町下甲立1624
四国	8/31・9/1	高知女子大学	高知市池2751－1
九州	9/7・8	山鹿市総合体育館	山鹿市熊入町416
		オムロン鹿陽センター	山鹿市杉1110　オムロン熊本

見ているだけでも楽しくなっちゃう!

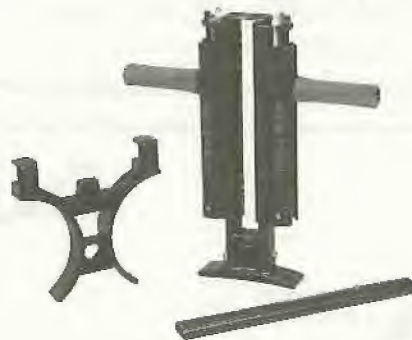
こだわり商品勢揃いのインターネットショッピングサイト

http://www.toki-meki.com/

◆◆◆◆◆◆◆ 今月のバイヤーお勧めアイテム ◆◆◆◆◆◆◆

そろそろ夏も本番! 効率よく運動して、健康ボディになろう!
お求めは、ときめきドットコム"+@ビューティ"カテゴリー内、"ヘルス&フィットネス用品"で!

Be. Quarter

●商品番号:207-900(20個セット) **6,000円**

ゼリー状の機能性飲料。運動を開始してから脂肪が燃焼されるまでに要する時間は、約20分。この20分間をガマンできずに挫折する方も多いのでは? このBe.Quarterを運動開始15分前に飲むことで脂肪の燃焼開始時間を大幅に短縮。30分ぐらいでその効果は最大に達し、その後3時間以上も高いレベルで効果を保ちます。ガルシニアとカフェインを配合することによる運動時の脂肪燃焼への相乗効果は、学会でも認められています。さらにその後8時間に摂取する脂肪の吸収を妨げるというまさに理想的なスポーツ飲料です。スッキリとしたライチ味で、34kcalと低カロリー。

ミニジム

●商品番号:207-901 **8,500円**

多彩なエクササイズが可能な軽量・コンパクトなミニジム。いつでも、どこでも気軽に運動ができ、腕・お腹・脚・ヒップのシェイプアップに効果的です。ラバーチューブの組替えで自分にあった負荷に調節できます。重さわずか1.5Kgなので、女性の方も使いやすいですよ。

■商品番号一覧

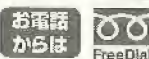
	商品番号 ライト	商品番号 スタンダード	商品番号 ヘビー
22cm	207-902		
23cm	207-903		
24cm	207-904	207-908	
25cm	207-905	207-909	207-912
26cm	207-906	207-910	207-913
27cm	207-907	207-911	207-914

シェイプアップウエイトインソール

●ライト **2,680円**
●スタンダード **2,950円**
●ヘビー **3,130円** ※商品番号は上記の表をご覧ください。

ダイエットに健康維持にウォーキング。通勤時や散歩時に靴の中に入れておくだけで通常より多くのエネルギーを消費します。

表示価格には消費税・配送料は含みません。支払い方法など、詳しくはサイトをご覧下さい。

お申し込みは、下記要領で

お電話からは FreeDial 0120-215-621
受付時間:10:00~17:00(土日祝も営業しております) 住所:東京都中央区京橋2丁目8番18号昭和ビル3階

パソコンからは http://www.toki-meki.com/
ケータイからは http://mobile.toki-meki.com/

シーアンドエスグループは、日本ハンドボールチームを応援しています。

株式会社シーアンドエスは、サークルケイ・ジャパン株式会社と株式会社サンクスアンドアソシエイツの共同持株会社として発足しました。

シーアンドエスグループ サークルK サンクス

「アフター日本」に注目

企画・広報委員
早川　文司

Free Throw フリースロー

１カ月のロングランだったサッカーのワールドカップは６月30日、ブラジルの５度目の優勝で幕を閉じたのは、皆さんご存じの通りである。この間、開催国の日本、韓国がそろって決勝トーナメントに進出、特に韓国はベスト４に食い込む大健闘で国内を真っ赤に染めた。

とにかく世界最大のスポーツの祭典といわれるこの大会。日本列島の沸騰ぶりはすごかった。私も日本の開幕戦となった札幌ドームから横浜の決勝まで、国内を歩き回ったが、会場の運営に協力するボランティアの人たちの献身的な働きには頭が下がる思いを何度となくした。

そうした中で今の日本サッカー協会に求められるのは「アフターW杯」である。次期監督問題をはじめ４年後のドイツ大会へ向けての選手強化、さらにはこの沸騰ぶりをどのように生かすかである。

「Jリーグが面白くないとサポーターが逃げていくのではないか」といった悲観論も一部にはある。「にわかサポーター」をいかにサッカーに踏み止まらせるかが最大の課題かもしれない。今後、日本サッカー協会がどのような方策を編み出してくるか、大いに注目されるところである。

ハンドボールにおいても５年前の97年、球界最大のイベントである男子の世界選手権を熊本で開いた。多くの観客を魅了し、ハンドボールの激しさ、楽しさをアピールした。一気にメジャーへーの期待も当時は随分聞かれたものだ。

しかし今、その勢いは残っているだろうか。遺産はどこにあるだろうか。残念ながら「熊本」効果は表立って見えてこないのが現状ではないだろうか。

世界選手権も予選が始まっている。日本は本当に出場権を得られるのか。オリンピックもしかりである。日本のファンは体質的にどうしても勝利を追及しがちである。負ければそっぽを向く傾向が強い。だからこそ、強化はなにより欠かせないのである。

サッカー協会が今回のワールドカップ開催を契機にどのような環境整備に当たるかに興味が注がれるが、ハンドボール協会としてももう一度「アフター熊本」を考え直して見る必要があろう。時の経つのは早い。あの熊本の興奮がさめない（かなり冷めた？）うちに手を打つことが“最大の防御”だ。せっかく熱く盛り上がったムードをしぼませるのはもったいない。

中学校活動シリーズ

田尻町立田尻中学校（宮城県）

① 学校名、指導者名、所在地

学校名：宮城県遠田郡田尻町立田尻中学校
顧　問：庄司　涉（男子）、中西昭五（女子）
コーチ：野口喜樹、小野寺皇貴
所在地：宮城県遠田郡田尻町沼部字早稲田15番地

② 部員数

●男子　3年生…5名　2年生…6名　1年生…7名
●女子　3年生…6名　2年生…4名　1年生…5名

③ 部設立時期と部活動継続の苦労話

部の設立については、資料等がみつからなかったため詳しいことはわかりませんが、本校が創立されたときがあったという話を聞いています。

県内でかつてハンドボール部があった中学校でも、指導者がいなくなったために休部になってしまったところがあります。そのような状況で本校は約30年間にわたり、ハンドボール部が活動を続けています。

本校の過去のハンドボールの成績としては、平成13年度は県中学校体育大会で女子が優勝をかざり、東北大会に出場しました。平成12年度には県中学校体育大会で男子が第3位になり、東北大会に出場しました。部員数についても過去には男子だけで50名もいたときもあったということです。

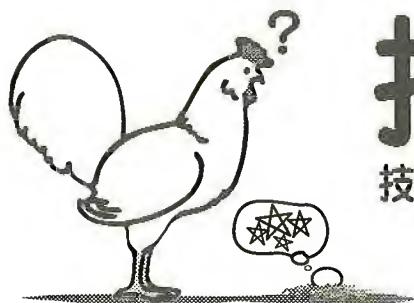
④ 指導に当たって特に留意されていること

完全学校5日制実施において『部活動も学校教育の一環である』という基本を踏まえていかなければなりません。学校行事や生徒会活動、ボランティア活動などについて、それぞれの価値を認識し、これらの教育活動の中の一つとして部活動を位置付けるとともに、学校経営計画を立てていくことが重要であるととらえています。この考えから学習や学校行事、生徒会活動などを踏まえ、仮にも部活動とそれらの教育活動が相殺したり、生徒がすべてを努力しようと疲れきってしまうことがあっては、計画として不都合であると考えています。

⑤ 部員数確保への具体的取り組み事項など

部員確保については特別なことはしていません。入部までの流れは入学の翌日に対面式（部活動紹介）を行い、部活動見学期間を1週間、体験期間を1週間を経て、入部することになります。見学・体験期間の2週間の中で部員が個人的に1年生に対して、ハンドボールの楽しさやおもしろさなどを伝えているようです。

⑥ 地域社会・近隣小・中・高等学校との連携や関わり方について

本校では今年度から3ヵ年にわたり文部科学省から『運動部活動地域連携実践事業』の指定を受けました。この実践事業の趣旨は、生徒数の減少などによる学校の運動部活動への参加生徒数の減少、指導者の高齢化や実技指導力不足などの要因で、単独校によるチーム編成ができない、あるいは十分な指導ができないなど、競技種目によっては、その活動を継続することが困難な状況が生じてきている。

このため、生徒のスポーツに関する多様なニーズに応えるため、複数校合同による運動部活動や地域スポーツクラブ等との連携など、1校の枠を越え、地域のあらゆる資源を活用した地域社会との連携について実践的な取り組みを行うものです。本校ではこの趣旨を受けて、事業内容として(1)学校完全週5日制における望ましい運動部活動の指導の在り方(2)地域の力を活用し、地域と連携を密にした運動部活動の在り方(3)地域スポーツクラブ等との連携の在り方はどうあるべきかを研究しています。

ハンドボール部は今までの活動の実績と文部科学省の趣旨を受けて、今年度も活動していくこととしています。具体的には、ハンドボール部員は田尻中（男女）ハンドボールスポーツ少年団に加入しており、主な活動は、毎週水曜日に町総合体育館で18時から21時まで練習をしています。水曜日以外の日は、部活動として練習をしています。このように学校とスポーツ少年団が協力し合い、練習日程や練習内容などを決めています。指導者についても地域の方々がコーチとして指導にあたっています。このように学校とスポーツ少年団が連携を図りながら活動しています。また、スポーツ少年団としての活動の一つとして町総合体育館の花壇の花植えを行うなど、地域活動に参加しています。

⑦ ある日の練習メニュー

基本的には、ウォームアップ（ジョギング、ストレッチ等）から始まり、補強運動（サーキット・トレーニング等）、パス練習（対列チェンジパス、三角チェンジパス等）シュート練習、フェイント練習、ゲーム形式での練習（セットディフェンス・セットオフェンス・カットインを主体としたもの等）を実施しています。今は県大会、東北大会に向けて、ゲーム形式の練習に力を入れています。

⑧ 小・中学生などの若年層の競技人口拡大に向けての諸方策について

現在、どのスポーツにおいても参加生徒数の減少が生じています。このような状況の中でハンドボール競技の人口を拡大させていくことは大変なことと考えています。少なくとも、過度な練習を強いることによる『意欲低下や障害・外傷、病気、燃え尽き症候群』などになり、ハンドボール競技をやめてしまうことにならないようにしていきたいと考えています。

連載

大塚文雄のハンドボール⑤

東京の大塚文雄先生が、指導者のいない高校生に向けてハンドボールの解説書を配布されているとの情報を得ました。せっかくの先生のご努力が少しでも多くの方々に理解されるよう、この解説書を大塚先生のご了解を得まして、機関誌に連載いたします。

韓国チームの防御コンセプト

韓国が世界の頂点に立てたのは、韓国の若き監督、韓国体育大学のチョン先生（Hyung-Kyun Chung）の開発した防御コンセプトである。柔軟な1－2－3を基本の防御システムから2－4、3－3防御システムと非常にアクティブな防御システムを研究し採用したためである。その後、韓国の練習法は日本でお手本として日本国中に広まったが、残念ながらこのアクティブなディフェンスシステムは日本のトップチーム、特に女子のチームには広まっていない。

今回は、その動きの主なものを紹介し、写真と図からその意図を汲み取って皆さんのチームでもマネしてやってみよう。もちろんこれには軽快なフットワークが要求されるが、そのためには、練習！　練習！

－相手のゲームのリズムを早期に崩してしまう。

－相手のミスを誘う。

－ボールを得てから如何に直接速攻につなげられるかを思索する。

▼連続写真1

▼連続写真2

攻撃において予測できる攻撃手段は、ほとんどすべての防御ポジションで起こる。

例1　サイドディフェンス

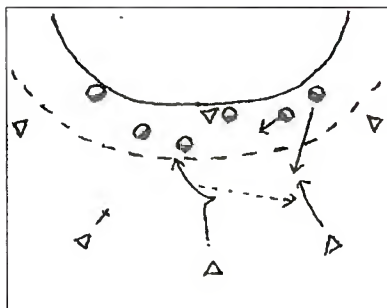



図1a

センターから右45度フローターへのパスに対する左サイドディフェンスの積極的な防御行動。

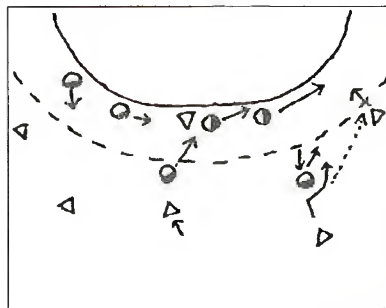



図1b

もし左サイドディフェンスがインターセプトできないとしたら45度ディフェンスやセンターディフェンスは右サイドプレーヤーに対してフォローする。

例2　45度ディフェンス

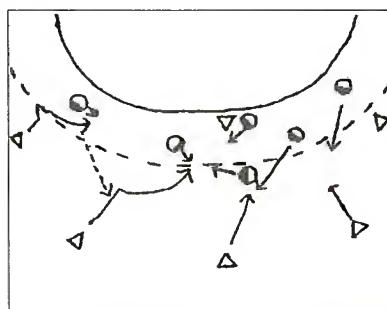



図2a

左45度プレーヤーからセンタープレーヤーへのパスに対しての45度ディフェンスの積極的防御行動。

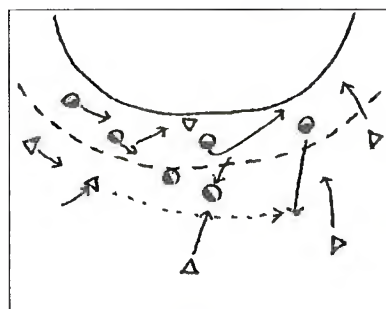



図2b

もし左45度プレーヤーがセンタープレーヤーへのパスを危険だと判断したら、即座に右45度プレーヤーへのロングパスを判断する。左サイドディフェンスは、ボールをインターセプトできる。

もし、その試みに失敗したら、その時センターバックは右45度プレーヤーに対して平行に走ってくる、右サイドプレーヤーに対してのフォローに入る。

例3　トップディフェンス

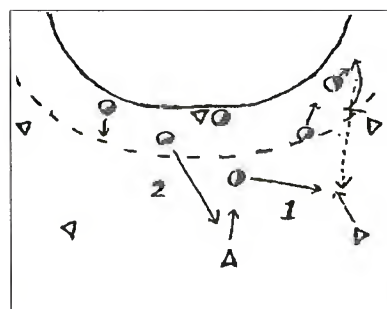



図3a

右サイドプレーヤーから右45度プレーヤーへのパスに対してのトップディフェンスの積極的防御行動。(図３ａの１の部分)

同時に右45度ディフェンスプレーヤーは、センタープレーヤーへのパスを牽制する。(図３ａの２の部分)

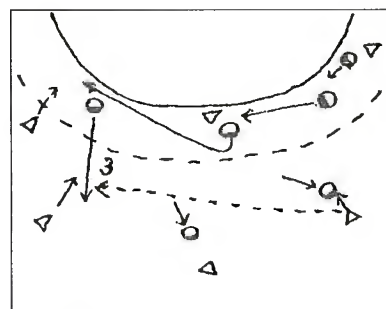



図3b

この状況において右45度プレーヤーは左45度プレーヤーへのロングパスをする。右サイドディフェンスはボールをインターセプトすることができる。(図３ｂの３の部分)

もし、この試みに失敗したらセンターバックが、左サイドプレーヤーに対してのフォローに入る。

新しい練習法に挑戦

高校生の練習を見ていると、多くの高校は、練習開始時は何列かでグランドを「ファイト！」「オウ！」「ファイト！」「オウ！」とかけ声をかけ走り、その後、対人パスのキャッチボール、次にシュート練習からGKからのボール出しのワンマン速攻、と大体ワンパターン。試合中に立ったままパスをすることはほとんどない。練習内容をもっと工夫して試合の中の動きを練習の中に取り入れてはどうでしょう。

こういう状況で、新しい技術とか新しい戦術とかいっても、ちょっと次元の違う話になってしまう。

でも…、でも…。今からでも遅くはない。意識改革をして、これを読んで新人戦がんばろう！（なに、もう負けちゃったって…。早いな…！ じゃあ春の大会は、上位を目指して…）

■ 練習の見直し

＊試合の中で使われる技術を分析して、練習に役立てる。

－対人パスのような立ったままのパス練習は無駄。常に動きながら、走りながら…

－「１人の速攻」という概念を捨て速攻も全員で攻め込むのだ…

－試合の中の一部分の細かい組織的な攻撃（フェイントやシュートを含む）ばかりに練習が偏っていないか?

－味方がシュートを打った後の「戻り」の練習方法がない。数少ない指導書にも書かれていない。これが、失点を止めるのに意外に大切！

■ 新しい練習法に挑戦

Ⅰ　守備からどう攻撃へ転じるか
(Changing into attack)

－ディフェンスの定位置についてから守るためにどう動くか。

－マイボールになってから攻撃への切り替え。

－ボールを持っていないディフェンスの時でも、常にボールをとる準備をする。

－interception＋break fast
（７人のオフェンス・７人のディフェンス）

Ⅱ　スピードと全面を使った全員攻撃
(Moving into court)

－攻め上がり、ボールをとってから敵ゴールへめがけ攻め込む。
Running＋drible＋pass＋bauncing 現在のハンドボールでは大変重要！

速攻で如何に得点をしていくかが、勝敗を決する。

Ⅲ　シューティングエリアへの接近
(Arrive into attacking zone)

－攻撃態勢に入った瞬間（短時間）に、防御がまだ守備隊形（システム）のとれていない時。

－攻撃プレーヤーと防御専門プレーヤーが交代している時。この時は、防御が非常に弱い瞬間である。

☆ 君達の試合はどうだい？　せっかくのチャンスにボールを右や左に回してから、サァ行くぞ！　では、相手にしっかり守られてしまう。

Ⅳ　組織的攻撃局面

－速攻で点が取れなかった時、攻撃の時（防御の時）自分の定位置について組織的に動く。

V　戻りの局面（Return　phase）

－シュート後、ボールを見ないで戻ってくるチームがある。（背を向けて戻る）

　戻りながら、ボールを取るためにプレッシャーをかける。（これは非常に重要なことで、確実に失点が減る。）

VI　組織的防御（Organaized deffense）

－多くの指導者は、VIの組織的攻撃に力を入れている。

君達の練習も3：3とか6：6の練習に多くの時間をさいていると思うが、そういう練習よりIIIの相手がまだ防御態勢が固まっていない時（ディフェンスが崩れている時）仕掛けて如何に点を取るかを考える。

また、Vの戻りの局面でしっかりボールを見て、如何に無駄な失点を押さえるか、が非常に重要になってくる。

■ 高校生への技術指導

視点を少し変えてハンドボールを眺めてみよう。

高校生の試合時間は正規では30分ハーフである。東京でも上位のチームは1試合60分（30分×2）でやっている。

少々荒っぽいがこんな見方が成り立つ。

1試合	60分
1チーム	30分（ボールを保持する時間）
1人	約2分ちょっと（ルーズボールやシュートがコート外に行き、取りに行く時間やゴールされた後、スローオフまでの時間などを除く）

1人につき約2分はボールを持って攻撃する。28分はボールを持たずに攻撃する。そして相手のボール保持時間30分はディフェンスをしている。

そこで、2分間にやることに対しては「技術指導」

　　　　28分間にやることに対しては「戦術指導」

☆ そこで、この2分間のための技術指導に偏ってはいないか、ということが言える。

■ 頭を使わせる指導のポイント

How？　When？　Why？　Where？

☆ 手本を見せてどのようにシュートするか？(How)は教えても、どのようにして手を振るのか（Why)、いつボールをリリースするべきか（When）等を教えないのではないか？

☆ 戦術指導はからっきしダメではないのか？

■ 球技に共通すること＝「PLAYABLE」

良い選手はPLAYABLEなところに常にいる。

ボールがほしい時、PLAYABLEなところへ動く。

■ 戦術構想・練習構想の基本

(1) To be playable

　常にプレーできる状態であれ。

(2) To become playable

　常にプレーできる状態になれ。

(3) To make playable

　常にプレーできる状態にさせよ。

この3つの原則の理解できない選手はダメな選手！

2つだけ理解できている選手も同様ダメな選手！

指導者のするべきことは戦術指導である。

■「どうしたら、playableとなれるか」

東京の高校生の大部分は、中学校でハンドボールの経験はない。そんな中入部して1ケ月もたたないうちに公式戦に出なくてはならない人もいるだろう。こういう人たちが、中学校で3年間やってきた人達と試合をやらなくてはならない。こんな状況で、経験者のいるチームに勝てるわけがない。

そこで、日頃の練習の中で、如何に無駄な練習を省き、戦術的な練習を取り入れていくか。たとえばウォーミングアップの中で、パスやキャッチの肩ならしとともに入れて行けば、合理的だし、古い練習をやっている人達よりはるかに上達するであろう。

こういう練習の中で、身体を暖め、動きながらのパスとキャッチが練習でき、またハンドボールに必要ないろいろな動きも自然に身につくわけである。

次回、そうした練習方法の一例を紹介したい。

“ときめきドットコム”お弁当注文マニュアル

“ときめきドットコム”へのお弁当注文は、下記のようにお願いいたします。

1. 弁当の種類、メニューおよび価格

ときめきスポーツ弁当	メインメニュー	価格（消費税別）
A弁当	魚または唐揚げまたは焼き肉	６００円
B弁当	魚または唐揚げまたは焼き肉	７００円
C弁当	魚または唐揚げまたは焼き肉	８００円
DX弁当	魚または唐揚げまたは焼き肉	１５００円

1　その他特別弁当が必要な場合はご相談下さい。
2　全ての弁当にお茶をご用意いたします。

2. 受付窓口の設置

大会ごとに各都道府県協会、各連盟、各市区町村協会または各大会実行委員会で、弁当のご担当者をお決めいただき、“ときめきドットコム”との窓口を設置してください。なお、日本ハンドボール協会が補助する大会については、日本協会事務局を通じてお申し込み下さい。

3. 弁当の発注

（１）発注方法　下の「お弁当発注書」をご使用いただき、それぞれの大会本部でご集計下さい。
　ｐｄｆファイル　＜ＦＡＸでご注文の時＞　エクセルファイル　＜Ｅメールでご注文の時＞
（２）発注　発注書を使用の上、大会開催３週間前までに、それぞれの大会本部から一括して、下記のＦＡＸまたはＥメールでご注文下さい。
　ＦＡＸの場合　０３－３５６１－３３８６
　Ｅメールの場合　bentou@toki-meki.com
　ときめきドットコム株式会社　担当　松本・犬飼　東京都中央区京橋二丁目８番１８号　ＴＥＬ 03-3561-3333
（３）変更の期限　内容の変更、数量の増減などは納品日７日前までにご連絡下さい。

4. 弁当の納品

（１）納品　段ボールなどに指定数量を記入の上納品いたします。
（２）保管　一時保管をする場合は、直射日光を避け、２０度以下の室内で保管してください。

5. 緊急連絡網など

（１）緊急連絡網　“ときめきドットコム”、弁当業者、弁当ご担当者との携帯電話による連絡網を設定いたします。
（２）ゴミ処理　日本リーグに関しては、各会場で処理をお願いいたします。なお、１日５００食越える複数日で開催される大会については、“ときめきドットコム”において処理いたします。

6. 代金精算

（１）ご請求　大会終了後、“ときめきドットコム”が各協会または大会本部宛に請求書を発行いたします。
　請求書の個別発行をご希望の場合は、発注書へご記入の上、事前にお知らせ下さい。
（２）お振り込み　各チームより集金していただいた代金は、２週間以内に次の銀行口座へお振り込み下さい。

ＵＦＪ銀行　東京営業部
　普通　１２３２６７７
　　ときめきドットコム株式会社

（３）領収書　請求書のお名前に基づき、ご入金確認の上発行いたします。領収書の個別発行をご希望の場合は、発注書へご記入の上、事前にお知らせ下さい。ご入金確認の上発行いたします。

梅基幸一

先日休暇を利用して、フランスへ遠征中の男子全日本の試合（ベルシー国際トーナメント）を観戦してきました。開幕日のフランス戦でしたが、試合内容についてはチームの方から正確な内容が連絡あると思いますが、私個人の意見としては、ポイントごとでは通用するプレーが多くなってきているのでは？と感じました。確かにゲーム全体を振り返るとかなり得点差は開きましたが…。

他の気がついた点などを報告します。

1　やはりハンド用の会場レイアウトができるようになっている

９年ほど前に私も出場しましたが、コートを目指してすり鉢状に観客が見渡せる。

日本で体育館といえば、２階から見下ろす。フロアー席があっても、なかなかコートと会場が一体になった感じがする会場は少ないと感じます。

2　レイアウト（競技毎）毎に席の料金が設定してある

近い席、見やすい席は若干高めに設定。

3　バスを調達しての近在の小学生くらいからの観客

２試合目（日本 VS フランス）が開始午後８時 30 分にもかかわらず、小さい子も試合観戦に来ていた。多分クラブチーム毎でバスを借り、保護者が２～３人ついて引率していた。帰りは体育館の周りがバスで大渋滞。

4　試合イベントがショーとして、観るもの、楽しむものになっている

観客が見て迫力があるなと感じられるよう、アナウンス・タイムアウト・ペナルティー・ハーフタイム・得点等それぞれ大音響でショーアップされている。

以上のような点ですが、写真も少し撮りましたので添付します。

高松宮杯第43回
全日本実業団ハンドボール選手権大会　開催要項

主旨

アテネオリンピック予選を来年に控え、代表候補選手はもちろん各企業の選手たちもモチベーションも上がり緊迫した大会となる事が予想されます。そんな状況の中で、本年度の４大公式戦の初戦となる標記大会は、新戦力が加わり昨年以上のアグレッシブな戦いになると考えられます。

組み合わせは、男子は昨年同様予選トーナメント・決勝リーグ戦方式を取ることにより、決勝リーグ戦での白熱する試合を数多くメークする事によって、観客と一体となり盛り上げる事とします。

一方女子に於いては、昨年より３チーム減り、新規に１チーム増える予定ですが、１０チームから８チームとなり予選リーグから順位決定トーナメント方式に変更して運営したいと考えます。

１．主催　（財）日本ハンドボール協会
　　　　全日本実業団ハンドボール連盟

２．主管　福井県ハンドボール協会

３．後援　福井県教育委員会、福井県体育協会、
　　　　福井市教育委員会、福井市体育協会、
　　　　松岡町教育委員会、松岡町体育協会、
　　　　朝日新聞社、福井放送、福井テレビ、
　　　　日刊県民福井

４．特別協賛　関西ペイント株式会社

５．期日　平成14年9月11日（水）～9月15日（日）５日間　※9月11日（水）午前中に諸会議・開会式を行う

６．会場　※本部体育館は福井県営体育館とする

9月１１日（水）開会式　福井県営体育館…４試合
　　　　　　　　　　　　℡：0776－34－0960
　　　　　　　北陸電力フレア体育館…４試合
　　　　　　　　　　　　℡：0776－61－4016

9月１２日（木）福井県営体育館…５試合
　　　　　　　北陸電力フレア体育館…５試合

9月１３日（金）福井県営体育館…５試合
　　　　　　　北陸電力フレア体育館…５試合

9月１４日（土）福井県営体育館…４試合
　　　　　　　北陸電力フレア体育館…４試合

9月１５日（日）福井県営体育館…４試合　閉会式
　　　　　　　北陸電力フレア体育館…２試合

７．参加資格　日本ハンドボール協会に平成14年度L／A登録し、全日本実業団ハンドボール連盟が推薦したチーム。

８．参加チーム

■男子：12チーム
湧永製薬／ホンダ／大同特殊鋼／ホンダ熊本／大崎電気／トヨタ車体／インテックス21／北陸電力／アラコ九州／大阪ガス／八光自動車工業／金沢市役所

■女子：８チーム
広島メイプルレッズ／北國銀行／オムロン／ブラザー工業／シャトレーゼ／ソニーセミコンダクタ九州／香川銀行TH／三重バイオレットアイリス

９．参加人員　責任者１名、監督１名、チームスタッフ、選手20名（内試合出場は14名）ベンチ入り計18名まで（役員４名、選手14名）
（選手以外のベンチ入りは最大４名とし必ず日本ハンドボール協会に役員登録をおこなっていること）

10．試合形式
男子：予選トーナメントから決勝リーグ戦（５～12位決定戦はトーナメント）
女子：２グループ制の予選リーグから順位決定トーナメント戦

11．表彰
（１）上位３チームを表彰する
（２）功労賞…全日本実業団選手権大会にメンバーとして下記年数を登録された選手
・男子：10年、20年、25年
・女子：５年、10年、20年、25年
注）参加申込時に別紙書類にて申請のこと。尚申請に遅れますと次年度表彰とします。
（３）ベストセブン賞、最優秀新人賞、最優秀監督賞、最高殊勲選手賞　＊敢闘賞設定せず

第24回東日本学生選手権大会開催要項

[開催期間]　平成14年8月16日(金)～20日(火)
　　　　　　予選リーグ：16日(金)～18日(日)　決勝トーナメント：19日(月)、20日(火)

[開催場所]　岩手県花巻市総合体育館、富士大学スポーツセンター

[参加大学]　男子32大学（北海道=6大学、東北=6大学、北信越=5大学、関東=15大学）
　　　　　　女子16大学（北海道=2大学、東北=3大学、北信越=2大学、関東=9大学）

[予選リーグ組み分け]

（男子）

■A組　日本大学（関東）、道都大学（北海道）、国際武道大学（関東）、東北大学（東北）
■B組　早稲田大学（関東）、順天堂大学（関東）、金沢大学（北信越）、岩手大学（東北）
■C組　日本体育大学（関東）、秋田大学（東北）、札幌大学（北海道）、福井大学（北信越）
■D組　筑波大学（関東）、新潟大学（北信越）、横浜商科大学（関東）、北海学園大学（北海道）
■E組　法政大学（関東）、中央大学（関東）、富山大学（北信越）、北海道工業大学（北海道）
■F組　函館大学（北海道）、明治大学（関東）、東北学院大学（東北）、拓殖大学（関東）
■G組　東北福祉大学（東北）、国士舘大学（関東）、小樽商科大学（北海道）、東京工業大学（関東）
■H組　金沢工業大学（北信越）、東海大学（関東）、仙台大学（東北）、東京学芸大学（関東）

（女子）

■a組　筑波大学（関東）、日本体育大学（関東）、東京学芸大学（関東）、秋田大学（東北）
■b組　東京女子体育大学（関東）、茨城大学（関東）、北海道教育大学釧路校（北海道）、金沢大学（北信越）
■c組　日本女子体育大学（関東）、東北福祉大学（東北）、仁愛女子短期大学（北信越）、順天堂大学（関東）
■d組　国士舘大学（関東）、東海大学（関東）、仙台大学（東北）、北海道浅井学園大学（北海道）

男子41回・女子32回西日本学生選手権大会開催要項

[開催期間]　平成14年8月9日(金)～13日(火)
　　　　　　予選リーグ：9日(金)～11日(日)　決勝トーナメント：12日(月)・13日(火)

[開催場所]　広島県立総合体育館、広島市東区スポーツセンター

[参加大学]　男子32大学（東海=7大学、関西=13大学、中四国=6大学、九州=6大学）
　　　　　　女子16大学（東海=3大学、関西=7大学、中四国=3大学、九州=3大学）

[予選リーグ組み分け]

（男子）

■A組　中部大学（東海）、同志社大学（関西）、琉球大学（九州）、立命館大学（関西）
■B組　桃山学院大学（関西）、広島経済大学（中四国）、福岡教育大学（九州）、龍谷大学（関西）
■C組　名城大学（東海）、関西外国語大学（関西）、九州大学（九州）、岡山大学（中四国）
■D組　大阪体育大学（関西）、広島大学（中四国）、名古屋大学（東海）、京都産業大学（関西）
■E組　中京大学（東海）、東和大学（九州）、関西学院大学（関西）、神戸国際大学（関西）
■F組　天理大学（関西）、愛知学院大学（東海）、近畿大学（関西）、愛媛大学（中四国）
■G組　福岡大学（九州）、大同工業大学（東海）、関西大学（関西）、近畿大学工学部（中四国）
■H組　大阪経済大学（関西）、愛知大学（東海）、松山大学（中四国）、沖縄国際大学（九州）

（女子）

■a組　福岡教育大学（九州）、京都教育大学（関西）、岡山大学（中四国）、天理大学（関西）
■b組　大阪教育大学（関西）、沖縄国際大学（九州）、名古屋文理大学（東海）、関西外国語大学（関西）
■c組　武庫川女子大学（関西）、愛知教育大学（東海）、立命館大学（関西）、川崎医療福祉大学（中四国）
■d組　福岡大学（九州）、中京女子大学（東海）、大阪体育大学（関西）、広島大学（中四国）

平成14年6月度常務理事会

［日　時］　平成１４年６月８日（土）
　　　　　１０：００－１２：００
［場　所］　日本青年館　３階会議室
［出席者］　山下副会長、大西専務理事、常務理事７名、参事２名、監事１名、事務局３名

審議事項

１．平成13年度収支決算書及び平成14年度第１次補正予算について

前回配布資料からの変更点を説明、承認。

２．平成１３年度日本協会表彰者について

資料に基づき説明、承認。

３．日本協会事務室移転の件

岸記念体育会館内での事務室移転を計画中である事が報告され、費用については第２次補正予算で調整可能とのことにより、承認された。

４．高専評議員承認の件

高専ハンドボール専門部の日本協会加盟にともない、評議員の届出があり、理事会にて決定する事となった。

５．日本協会執行部役員通信費の件

通信費（携帯電話等）は、各役員の私費に食い込んでいる。公私の区別が把握しにくいため、実態調査をする事となった。

６．故斎藤英四郎名誉会長を偲ぶ会について

故斎藤名誉会長の死去に伴い、メモリアル大会、偲ぶ会について意見があった。訃報は機関誌７月号に掲載する報告があった。別に特集号を考慮する。

７．平成14年度全国大会派遣役員の件

変更点及び未定が一部残るが、ほぼ割り振り完了。

８．２００３年アテネオリンピック予選開催について

兵庫県との連絡調整窓口は、競技運営部長が担当。予選１年前には、初動を起こすように、来年７月までに組織委員会としての案を出す。同予選が、アジア選手権を兼ねるかどうかも確認する。

９．国民体育大会ハンドボール競技の夏季大会移行について

日本ハンドボール協会は、国体の夏季大会移行を希望したが、国体改革の方針が打ち出されたため、白紙撤回となった。常務理事会としてこれを承認。理事会に提案する事となった。

10．大分国体夏季大会開催日程について

日本体育協会に、ハンドボール競技の夏期大会日程での実施を要請することを承認。９月開催として空調を条件にいれる。

11．社会人連盟（仮称）について

資料に基づき以下の説明があった。

名称は「日本ハンドボールクラブ連盟」（仮称）としたい（小学生からマスターズまで、連盟や学校のクラブに所属していない人たちも対象）

予定として、今年11月理事会で最終承認を得た後、来年４月には発足。年齢別の大会は従来になかったことであり、地域のクラブチームを救う事になる。

これに対し、３重構造の恐れはないか、連盟・学校に属していない事は都道府県そのもの活動になるため、現場の意見をよく聞く必要があるなどの意見があった。

明確にしておく必要点として、現場のやりやすい形を考える、お金の流れ、運営の流れをハッキリさせるなどが挙げられた。

12．全日本総合開催地の決定計画

移動の便宜と移動費の軽減が重要。九州地区での開催希望がある。

13．岡山ジャパンオープン大会について

参加料、協会負担金の増額は困難。協賛金を集める方法が良いとの意見があった。

14．マーケティング委員会より

マーケティング委員長より、資料について詳細説明。早急に担当を決め出来るものから実行したい。

報告事項

１．強化事業報告
２．Ｂ級公認コーチ養成講習会日程及び受講者名簿について
３．トップレフェリー研修会要項
４．スーパーチャレンジ２００２審判割り当て
５．交代地域における携帯電話、通信器具の使用について
６．ＮＴＳについて
７．がんばれ１０万人会サポート会員
８．第４回全日本ビーチハンドボール選手権大会

平成14年度第1回理事会

［日　時］　平成14年6月8日(土)
13：00－16：00
［場　所］　日本青年館
［出席者］　山下副会長、大西専務理事、常務理事7名、理事5名、参事14名、監事2名

開会に先立ち、故斎藤英四郎名誉会長に対して黙祷をおこなった。

審議事項

1．平成13年度事業報告

平成13年度の事業の報告がなされ、承認された。

2．平成13年度収支決算について

平成13年度の収支決算書の報告がなされ、監事から会計監査の報告があり、承認された

3．平成14年度第一次補正予算

平成14年度の第1次補正予算について説明がなされ、承認された。

4．平成13年度日本協会表彰者承認の件

都道府県協会、各連盟より推薦された名簿が提示され、承認された。

5．高専評議員承認の件

全国高等専門学校体育連盟ハンドボール専門部の日本協会加盟を受けて川原繁樹氏の評議員への選出が承認された。

6．故斎藤英四郎名誉会長を偲ぶ会について

故斎藤英四郎氏の偲ぶ会については常務理事会に一任された。

7．平成14年度全国大会役員派遣の件

平成14年度全国大会、国際大会派遣役員について報告され、承認された。

8．2003年9月アテネオリンピック予選開催について

アテネオリンピックハンドボール競技アジア予選に関して説明がなされ、承認された。

9．国体改革、夏季大会移行、大分国体夏季大会開催日程について

国体の活性化と簡素化のために、参加人員の15％、4500人の削減の中間発表があった。

このことにより、ハンドボール競技の夏期大会移行は白紙に戻す。

大分国体のハンドボール競技は夏期日程で行いたい旨の申し出があった。

以上承認された。

10．社会人連盟構想について

平成15年4月に設立し大会をおこなっていきたい旨、説明がなされ承認された。

来年度は、成年のみ開催し将来的には年齢別大会も設定する。今回は、構想を了承していただき11月の理事会に具体的な案が提出される。

11．全日本総合開催地の決定計画

計画案が提示され、来年度に関しては中国地区で調整することが承認された。

12．岡山ジャパンオープン大会について

岡山県協会より日本協会宛に提出された要望に対して説明がなされ、さらに県協会と折衝することが了承された。

13．マーケティング委員会より

マーケティング委員会の提案が山下副会長から提示された。今後更に検討を要する旨発言がなされた。

14．プロジェクト21

プロジェクト21を今後も推進していくことが確認され、了承された。

報告事項

1．強化事業方向

全日本女子チーム強化事業計画、男子アジアナショナルサーキットの報告がなされた。

2．B級公認コーチ養成講習会日程及び受講者名簿について

平成14年度（ハンドボール競技）B級コーチ養成講習会実施について報告された。

3．トップレフェリー研修会について

平成１４年度のトップレフェリー研修会を大崎企業スポーツ事業研究所の助成を受けて広島で実施することが報告された。

4．スーパーチャレンジ2002審判割当

スーパーチャレンジ2002の審判員は、国際、大陸レフェリー及び、地域のトップレフェリーより決定した旨説明がなされた。

5．交代地域における携帯電話、通話器具の使用について

交代地域における携帯電話・通信機器の使用禁止についての文書を6月8日付けで通知し、ルールブックにも掲載する旨説明がなされた。

6．ＮＴＳについて

ＮＴＳ2002の基本方針が説明された。ビデオと教本が7月にできることが述べられた。

7．がんばれ10万人会・サポート会

平成13年度の都道府県協会への還元金、6月6日現在の会員数の報告がなされた。

8．第4回全日本ビーチハンドボール選手権大会

第4回全日本ビーチハンドボール大会が兵庫県明石市から秋田県本庄市に変更されたことが説明された。

9．日本リーグ報告

第27回（平成14年度）日本ハンドボールリーグの日程等が説明された。

10．学校体育研究集会

7月30、31日に秋田県で行われる研究集会の説明がなされた。

ハンドボール研究2002第4号が発行されたことが報告された。

平成14年度全国評議員会

［日　時］　平成14年6月22日(土)
12：00－16：00
［場　所］　国立スポーツ科学センター(JISS)
［出席者］
武田節夫、斎藤浩、後藤義信、滝口三郎、森川利昭、菊島哲也、中山圭三、寺垣俊彦、清水保夫、西村亮治、杉本真一、秋永昭治、小西博喜、中村博幸(代理)、

狩野幸介、中川敏文、田中秀和、
松原紀機、後山富士水、山本一、
長尾輝夫、片岡修一、甲斐忠義、
井　薫、坂本平、中野利一（代理）、
斉藤節郎（代理）、河先修、川原繁樹、
板橋弘徳

日本協会執行部

山下副会長、大西専務理事、
常務理事７名、監事２名

開会に先立ち、故斎藤英四郎名誉副会長に対して黙祷をおこなった。

審議事項

１．平成 13 年度事業報告

平成 13 年度事業報告がなされ、了承された。

２．平成 13 年度収支決算書

平成13年度の収支決算が報告され、殿水監事から会計監査を行い適切に処理されていることが報告され、了承された。

３．平成 14 年度第１次補正予算

平成 13 年度の第１次補正予算について説明がなされ、了承された。

４．日本協会表彰者承認の件

都道府県協会、各連盟より推薦された名簿が提示され、了承された。

５．高専評議員の件

全国高等専門学校体育連盟の日本協会加盟を受けて川原繁樹氏が評議員に就任した事が報告された。

報告事項

１．平成 14 年度全国大会役員派遣の件

平成 14 年度全国大会、国際大会派遣役員について報告された。

２．2003 年９月アテネオリンピック予選開催について

アジア予選が兵庫県神戸市に決定した過程が説明がされた。

３．国体関連について

国体関連事項として以下の報告がされた。

夏季大会移行は白紙撤回されるが、参加枠削減については検討してほしいと日体協に伝える。

大分国体においては、県体協より夏季大会移行の要請があり了承した。

岡山国体リハーサル大会において県協会より要望が出され、検討することが理事会で確認された。

４．社会人連盟（仮称）構想について

以下のように報告された。

当面は教職員連盟と、実業団連盟を統合させる形で４月を目途に発足させたい。将来的には中体連、高体連とは別に年齢別大会を実施していきたい。このために、２月に人事組織を確定させたい。Ｊオープン予選に関しては従来同様におこなう。

５．全日本総合開催地の決定計画

将来構想としては日本選手権構想を立てたが当年は従来通りおこなう。来年以降の開催地については競技部の案が提示され、現在中国ブロックで検討していることが報告された。

６．マーケティング委員会より

マーケティング委員会の提案として資料が提示され、委員会としての具体的な提言がなされた。

７．プロジェクト 21

プロジェクト 21 の必要性と継続が報告された。

８．強化事業報告

全日本女子チーム強化事業計画、男子アジアナショナルサーキットの報告がなされ、ナショナルの最大目標はアテネ出場であることが述べられた。

９．ＮＴＳについて

ＮＴＳ 2002 の基本方針が説明された。

10．がんばれ 10 万人会・サポート会

資料が提示され、平成 13 年度の都道府県協会への還元金、６月６日現在の会員数の報告がなされた。

11．日本リーグ報告

第 27 回（平成 14 年度）日本ハンドボールリーグの日程等が説明された。

12．指導・普及部報告

平成 14 年度Ｂ級コーチ養成講習会についての説明がなされた。併せて公認Ｊ級指導員制度について説明がなされた。

13．審判部報告

資料が提示され、トップレフェリー研修会、2002 年度全日本大会審判団名簿、スーパーチャレンジ 2002 審判割り当てが説明された。

14．その他

昨今スポーツの世界でも男女平等の声の高まりと、「ブライトン宣言」により 2005 年までに女性の組織指導者を 20％にしなければならないので、地域でもこれを達成できるように努力してほしい旨説明がなされた。

サークルＫアンドサンクスの「スポーツ弁当」を活用していただきたい旨説明がなされた。

平成13年度 日本協会表彰者推薦一覧

平成13年度(財)日本協会表彰者が決定しましたので、報告いたします。

都道府県	候補者（年齢）	所属先	役職	備考
東　京	福本　弘 (64)	大崎電気工業（株）	副会長	全日本総合等々都主催大会で尽力
山　梨	清水　剛 (67)		参与	県のハンドボール競技の基盤確立
愛　知	川島　克之 (57)	大府高校	参与	県協会の審判部の要
愛　知	杉村　正一 (58)	春日井高校	常任理事	永年、県の高校専門委員長として活躍
岐　阜	森川　俊章 (61)		副会長	永年、強化委員長等普及、強化に尽力
大　阪	奥浜　清 (59)	上宮高校	副会長	大阪高体連副委員長を永年務めた
島　根	中西　磊 (59)		参与	県協会理事長として永年尽力
広　島	東　昌弘 (62)		副会長	永年、特に審判部で貢献
愛　媛	野中　聰 (61)	松山大学	副会長	38年間、普及・強化に多大な功績
福　岡	篠崎　省吾 (67)		副会長	32年間県協会の理事、理事長、副会長として
佐　賀	末次　功 (66)	県総合運動場	理事長	高校・一般女子を永年指導。審判員も
長　崎	寺崎　嘉高 (66)		参与	30年間、県中学校指導一筋
大　分	佐藤　喜一 (60)		常任理事	30年以上県ハンドボール界に寄与
宮　崎	堀之内真澄 (63)		副会長	30年以上県役員、高体連専門委員長として尽力
鹿児島	正徳　光紀 (62)	純心女子高	参与	14年間高体連専門委員として活躍
教　職	小山　哲央 (56)	中京大学	常任理事	マスターズ大会の企画・運営
日本協会	濱脇　純一 (62)	濱脇整形外科病院院長	JHA ドクター部	永年、チームドクターとして貢献

「ハンドボール研究」第4号発刊のお知らせ

主な内容

「ハンドボール研究」第4号発刊に当たって…1
米倉　功（日本ハンドボール協会会長）
佐藤　靖（学校体育検討委員会委員長）

第4回ハンドボール研究集会
－ボール運動教材としてのハンドボール（その4）－

[講演]
これからの体育の授業づくりを考える
－ハンドボールから「かしこく、なかよく、元気よく」に向けて発信する－…2
池田延行（東京学芸大学）

[授業実践]
小学校中学年におけるバスケット型（侵入型･攻守混合型）のゲーム作り－ハンドボールにつながるゲーム作りの私案－
松本格之祐（筑波大学附属小学校教諭）

[授業提案]
高学年ハンドボール学習活動案「課題解決学習をめざしたハンドボール学習」野原博人（川崎市立南生田小学校）
中学年ハンドボール学習活動案「みんなでつくろう！　楽しいハンドボール」関　恵美（川崎市立新城小学校）

[講義]
ハンドボールを通してみる戦術学習の方向性
岡出美則（筑波大学）

[論文・実践報告]
高学年のハンドボール&市内体育研究会ハンドボール講習
高橋るみ子（北上市立和賀西小学校）
ハンドボールの教材としての可能性を探る－戦術学習を中核とした授業づくり－
信原悦治（岡山市立大野小学校）
投能力（ハンドボール投げ）に関する縦断的変化の一考察
小山　浩（筑波大学附属中学校）

[研究資料]
ハンドボールゲームの学習系統：協調能力の養成に向けて
日高利枝（秋田大学大学院教育学研究科）
佐藤　靖（秋田大学）

ハンドボール研究集会報告
岩手県ハンドボール研究集会報告
第4回ハンドボール研究集会報告

1冊1,000円です。お問い合わせは（財）日本ハンドボール協会まで

「がんばれハンドボール10万人会」6月新規入会・継続更新会員の紹介

【北海道】小笠原久郎、小笠原一朗**【青森】**工藤桂子、西村淳子**【福島】**加藤岳郎、佐藤圭太、茂木秀史、菊池麻衣、安斎　一、三浦和也、伊藤丈陽、横江希望、星　陽、五十嵐　大、高城菜奈子、西坂　純、北村瑤子、篠田芙有子、片平佐織、佐藤絃子、和田聡子、川田泰葉、熊田健吾、池田勇人、鈴木俊也、鈴木　智、江川　浩、井跡淳一、橋本貴幸、菅野かなえ、萩原智之、馬場俊樹、立花和紀、高橋　綾**【茨城】**鈴木　均、武藤康夫**【群馬】**酒井　宏**【埼玉】**田中　孝、伊藤　良**【千葉】**福井恵二**【東京】**伊藤道良、増渕潤一、小笠原泰代**【神奈川】**臼井鉄久、河野卓也**【新潟】**小池規子**【福井】**谷口信二**【愛知】**宮地光男、水谷美智子**【三重】**奥田亜紀子、佐藤一恵、橋本行弘、橋本菜月、橋本涼加、橋本由紀子、橋本　快**【岐阜】**太江　諭、吉安秀光、尾崎康弘**【京都】**審　愛玲**【大阪】**里村静俊、近藤善重、川中府美恵、伊藤慎吾、和田恵美世、下佐古明彦、藤井千賀、山本正明**【鳥取】**松原春子、吉田達明**【岡山】**村木理英、藤井俊朗**【広島】**玉村敦子、市河　誠**【愛媛】**越智　武**【高知】**葛目憲昭、岡本憲和**【福岡】**日野祐一郎**【熊本】**高木徹郎

【インフォメーション】

TVKが「ハンドボール日本代表サポートコーナー」を開設、日本代表の紹介はもちろん、ヨーロッパのリーグ戦など世界最高峰のゲームを紹介してくれます。

8月の放送予定は、以下のようになっています。ハンドボールの魅力を十分に御堪能ください。

【8月の放送予定】

8月8日(木)　日本代表強化合宿レポート①
8月17日(土)　日本代表候補選手紹介・インタビュー
8月22日(木)　欧州遠征取材レポート①
8月29日(木)　欧州遠征取材レポート②

【8月の行事予定】

第53回全国高校選手権大会
　8月1日(木)～7日(水)：茨城県・水海道市民体育館他
第15回全国小学生大会
　8月2日(金)～4日(日)：京都府京田辺市
第7回ジャパンオープントーナメント
　8月8日(木)～11日(日)：男子・静岡市、女子・清水市
第29回全国高等専門学校選手権大会
　8月10日(土)～11日(日)：岩手県花巻市
男子41回・女子32回西日本学生選手権大会
　8月9日(金)～13日(火)：広島市
第24回東日本学生選手権大会
　8月16日(金)～20日(火)：岩手県花巻市

★編集後記★

小生がハンドボールに初めて触れたのは、高校2年の体育の授業だった。それまで校庭の隅にある赤と白の小さなゴールとは全く無縁だったのに、2年後大学入学とともにハンドボール部の門を叩き、大学4年では飽きたらず20年余りが経ち、今ではマスターズ大会の常連となっている。

長くプレーのできる環境が整っていたとは言え、小生にとって体育の授業でハンドボールに出会っていなければこのスポーツとの接点はなかったようにさえ、今は感じている。もう少し早く知りたかったとも思う。機関誌でも小学生のクラブの活躍を報告しているが、もっと小学生、中学生の授業でハンドボールが取り入れられていけば、小生のような子供たちが増えて競技人口の増加につながるのではないだろうか？　(M・O)

HAND BALL CONTENTS Aug

(登録チームの購読料は登録料に含む)

2002コートの主役

PKCH3-AD ¥4,600

検定球3号、アデランテ、手縫い
国際公認球、一般・大学・高校・男子用
天然皮革
パ

PKCH2-AD ¥4,500 パ

検定球2号、アデランテ、手縫い
国際公認球、一般・大学・高校・女子用・中学校用
天然皮革

(財)日本ハンドボール協会編『ハンドボール』第四三二号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成十四年七月二十六日印刷 平成十四年八月一日発行
東京都渋谷区神南一－一－一
電話 代表 三四八一－二三六一
〇〇一二〇－七－一〇二九三
編集兼発行人 大西武三
定価 年間三三〇〇円